

第24回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議

共同メッセージ(仮訳)

【2024年5月3日 ジョージア・トビリシ】

1. 我々は、日本の鈴木俊一財務大臣の議長の下、第24回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議をジョージア・トビリシで開催した。
2. 我々は、世界経済及び地域経済の現下の動向と見通し、リスクや課題への政策対応、並びにASEAN+3金融協力の進展について意見交換を行った。地域の成長は、2023年に堅調な内需にけん引され強まった。地域は、2024年は、内需と回復しつつある投資と輸出、堅調な消費支出に支えられ、より速いペースで成長する見込みである。外的要因からの負の波及による外国為替市場のボラティリティの高まりとともに、地政学的緊張、世界的なコモデティ価格や輸送コストの高騰及び、主要貿易相手国の成長減速を含め、諸リスクがASEAN+3地域の短期的な見通しに影響を与えうる。中長期的には、これらのリスクの中には、気候変動や人口高齢化も含まれうる。これを背景として、我々は、経済のための的を絞った支援を提供しながら、パンデミックの間に失った政策余力を再構築し、財政の持続可能性を強化することに引き続き強くコミットしている。我々は、世界貿易機関(WTO)を中心とした、開放的、自由、公正、包摂的、衡平で透明性のある、無差別でルールに基づく多国間の貿易システムへの我々の強いコミットメントを再確認し、地域的な包括的経済連携(RCEP)協定の履行を完全に支持する。日中韓は、地域の堅調な回復と持続的な成長に向けて相互及びASEAN諸国との協力・コミュニケーションを強化することにより、ASEAN+3金融プロセスにおいてリーダーシップを発揮していく。
3. CMIMを含むASEAN+3地域金融アレンジメントの改革は、地域金融セーフティーネットを強化するための必要不可欠な取組である。この観点から、我々は、CMIMの下での新たなファシリティである、選択通貨として適格な自由利用可能通貨(FUCs)が導入された緊急融資ファシリティ(RFF)の創設と、その制度設計を支持する。我々は、CMIMの下でのこの新しいファシリティの創設は、ASEAN+3地域の強靱性を大きく強化すると確信している。我々は、また、(a)払込資本の外貨準備としての認識の可否、及び(b)払込資本の構造を管理するためのガバナンスや必要な能力を明確にする必要性を含め、コスト及び課題を認識しつつ、地域金融セーフティーネットの実効性を強化する、払込資本の構造の便益に合意する。我々は、あり得る新たな資金構造に関する研究を基に、グローバル金融セーフティーネットを更に補完するような新たな払込資本構造を含むようにCMIMを移行することを目標とする様々な資金構造の選択肢も、こうした選択肢の目的とともに議論し

た。

4. 我々は、また、地域金融取極を改善するために政策調整インストルメントのような新たなファシリティを検討することを含め、地域金融取極のロードマップを更に遂行することに合意する。
5. 我々は、必要な時の効果的な資金利用オプションとしてのCMIMのアクセシビリティを向上させる、CMIMの新たなマージン構造の採択を歓迎する。我々は、CMIM米ドル参照金利及び現地通貨のマージン構造の見直しの議論について進捗を認識する。これは、CMIMの金利を世界の金融市場の慣例に沿わせ続けるものである。我々は、CMIM契約書の第2回定期見直しの進展を歓迎する。更に、我々は、第14回テストランが成功裏に完了したことを歓迎し、第15回テストランに期待する。我々は、現地通貨口座の開設について、進展があったことを認識する。
6. 我々は、AMROの戦略立案、業務及び運営に指針を提供する戦略的方向性2030（SD2030）を実施するAMROの努力を称賛する。我々の地域金融協力が拡大し続ける中、体系的で専門的な支援を提供し、ASEAN+3財務プロセスの利益と声を後押しするためには、運営・政策の両面でより強固でかつより特化した組織的支援が重要である。我々は、CMIMの強化と地域金融取極の将来的な方向性、とりわけRFFの創設と払込資本の構造に関する研究へのAMROの知的・業務上の支援を評価する。我々は、AMROの幹部ガバナンスの包括的な見直しの結果を歓迎するとともに、新設次長（テーマ別サーベイランス及び調査担当）が2024年7月に着任すること及びAMROの幹部の引継ぎスケジュールの見直しに期待する。更に、我々は、サーベイランス機能を継続的に強化するためのAMROの努力への感謝を再確認し、AMROにとって2つ目の旗艦レポートとなるASEAN+3金融安定性報告書が昨年12月に立ち上げられたことを歓迎する。
7. 我々は、「ABMI中期ロードマップ2023-2026」の下での進捗を歓迎する。我々は、また、サステナブルファイナンスのエコシステムの発展と、現地市場創設のためのサステナブルボンド発行に対するABMIの貢献を認識する。我々は、ADBのこれまでの貢献に感謝し、ABMIのイニシアティブの発展の一層の推進を期待する。
8. 我々は、災害リスクファイナンス（DRF）イニシアティブの事務局設置を歓迎し、それを2年後に見直すことの合意を確認する。我々は、また、ASEAN+3DRFイニシアティブの事務局長として河合美宏氏を歓迎する。我々は、また、ASEAN+3DRFイニシアティブのアクションプランの更新を歓迎する。

9. 我々は、作業部会(WG)を含む、ASEAN+3金融協力を深化・拡大するための具体的進展を歓迎する。我々は、メンバーが今後ASEAN+3の政策調整手段について議論し開発するための良い参考となる「IMFの政策調整インストルメントとASEAN+3のRFAツールキットへの包含」に関するAMROのレポートを認識する。我々は、「地域フィンテック規制の枠組み」と地域におけるフィンテックの普及を通じて金融包摂を強化するために開始されたオープンバンキング・システムの活動と今後の詳細な作業計画を歓迎する。我々は、WGに対し、更なる進展を得ることを慫慂する。
10. 我々は、2024年ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議の共同議長としての韓国とラオスのリーダーシップに感謝する。我々は、来年開催される第28回ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議において、共同議長を務める中国とマレーシアを支援することに合意する。
11. 我々は、日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議が、強化された政策対話・協議のための効果的な場として引き続き役割を果たすことを確認し、2025年にイタリア・ミラノにおいて再会することを決定した。